

ISO26000を参考ガイドラインとし、7つの取り組み分野に分け、中期的な取り組みを掲げております。

2016年度の実績は次の通りです。

A:達成 B:ほぼ達成 C:未達成

取り組み分野	関連ページ	重点項目	主なテーマ	2016年度の取り組み目標	2016年度実績	自己評価
ガバナンス・コンプライアンス	P.17~18	コーポレート・ガバナンス	公正な企業活動の推進のために、取締役会・監査役会および各種委員会での検討	・取締役会・監査役会の開催と、CSR推進委員会での活動計画の審議	・STA不適切会計問題を踏まえ、業績管理体制の見直しや監査役会のモニタリングについて改善を実施してきたが、十分ではなかった	B
			評価範囲内対象会社について、財務報告に係る内部統制の有効性を評価	・財務統制委員会を中心とした活動実施【目標:開示すべき重要な不備件数 0件】	・開示すべき重要な不備があったと判断し内部統制報告書を提出	C
			住江織物グループ行動規範および行動基準の浸透	住江織物グループコンプライアンスプログラムの確立 ・各階層別研修、新入社員研修でのコンプライアンス研修実施【計画比実施率:100%】 ・新入社員へのコンプライアンスガイダンス配布および基礎知識講習 ・その他、イントラや集合形式での研修【計画比実施率:100%】	・各階層別研修、新入社員研修でのコンプライアンス研修実施【計画比実施率:100%】 STA不適切会計問題を踏まえ、コンプライアンス研修実施(役員研修、幹部研修、ワークショップ)	A
		コンプライアンス	コンプライアンスに関するモニタリングの継続実施	・ローテーションによるコンプライアンス監査の実施【計画比実施率:100%】	・コンプライアンス監査の実施【計画比実施率:100%】 海外子会社への監査を重点的に実施予定	B
		ホットラインの周知	・新規入社者へのホットライン周知 ・階層別研修、ハラスメント防止研修にてホットライン周知【目標:100%】	・新規入社者へのホットライン周知 ・階層別研修、ハラスメント防止研修、ワークショップなどの機会にホットライン周知【目標:100%⇒実績:100%】 海外子会社を主としたホットライン制度の運用を見直す予定	B	
事業慣行	P.33	公正な取引	契約状況の見える化・取引に関する法務教育およびモニタリングを実施	・下請法に関するイントラネットまたは集合形式での研修実施 ・内部監査実施【計画比実施率:100%】	・下請法に関する集合形式での研修実施 ・内部監査実施【計画比実施率:100%】	A
	—	グリーン調達	グリーン調達ガイドラインの推進	・サプライヤーへのガイドラインの配布と帳票の回収【目標:年1回】	・サプライヤーへのガイドラインの配布と帳票の回収を実施【目標:年1回⇒実績:年1回】	A
人権・採用・人事処遇・育成	P.29~32	多様性の尊重	多様性を尊重し、働きやすい職場づくりを実施	・子会社より障がい者雇用率達成に向けて、対策案を提出→期末の振り返り(株)スミノエ、ルノン(株)、住江物流(株)、住江テクノ(株)、丹後テクノスタイル(株)、帝人テクロス(株)、尾張整染(株)	・住江織物(株)単体での障がい者雇用率は未達成(法定雇用人数は達成) ・子会社での対策は未実施	C
				・シニア社員への評価フィードバック時に上司面談を実施 ・CSRレポートでの活躍PR	・シニア社員への評価フィードバック時に上司面談を実施 ・CSRレポートでの活躍PR	A
		人材育成	自らの能力向上の支援としての集合教育の実施	・階層別・テーマ別研修の実施と内容の充実	階層別研修:内容の検討を例年通り実施 テーマ別研修:[タイムマネジメント]のテーマを選定し、実施	A
			グローバル人材の育成	・グローバル人材育成システムの基礎づくり	・新入社員および希望者のTOEIC受験 ・語学研修(通学式レッスン、通信教育、赴任前語学研修)の実施 ・グローバル人材育成システムの基礎づくりは未実施	B
		女性活躍	女性活躍	・女性活躍サポートフォーラムへの派遣 ・管理職対象女性部下指導研修等の検討 ・CSRレポートでの女性活躍PR ・各階層別研修での女性活躍PR	下記実施 ・女性活躍サポートフォーラムへの派遣 ・CSRレポートでの女性活躍PR ・各階層別研修での女性活躍PR また、部下指導研修に代え、管理部門対象女性活躍セミナーを実施	A
			人材活性化	人材活性化への取り組み実施 ・「未来塾」の開催 ・その他、今後の取り組みを検討	・「未来塾」の開催 ・人事部にて、今後の活性化への取り組み検討	B
安全・防災・健康	P.30	労働安全衛生	社員の安全を守るための活動計画を推進	・安全衛生委員会設置事業所での取り組みの共有 ・小規模事業所の安全衛生推進者・衛生推進者の設置 ・安全教育の定期実施【目標:休業件数での労災度数率1】	・重大労働災害が発生したため、中央安全衛生部会による重大労働災害現場確認および再発防止を目的とした注意喚起の実施 ・中央安全衛生部会メンバーが工場巡視を行い、取り組みの意見交換を実施 ・安全教育の定期実施【目標:休業件数での労災度数率1⇒実績:2.35】	C
				・防災訓練の実施【計画比実施率:100%】	・防災訓練の実施【計画比実施率:100%】	A

取り組み分野	関連ページ	重点項目	主なテーマ	2016年度の取り組み目標	2016年度実績	自己評価
安全・防災・健康	P.30	労働安全衛生	社員の健康を保持するためのケアを実施	・ハラスメント防止研修の実施 ・行動ルールの見直し ・健康相談室サービスの広報 ・ストレスチェックの実施	・ハラスメント防止研修の実施 ・ハラスメント相談窓口を新たに設置 ・健康相談室サービスの広報 ・ストレスチェックの実施	A
				・営業所を含め、全ての事業所に客観的な労働時間把握ツールを導入 ・労働時間を定期的にチェックし、長時間労働者への指導がされる仕組みの定着 ・ワークライフバランスとしての取り組みを検討	・主要な事業所および営業所へのタイムレコーダー導入 ・労働時間の定期的なチェック、タイムレコーダーとの乖離の確認と指導 ・管理職対象労働法セミナーを4拠点で実施	A
環境	P.35~40	事業活動における環境負荷の低減	地球温暖化防止	P.38に掲載		
リスクマネジメント	P.33~34	BCP	災害時の事業継続計画推進	・本社事業所での安否確認訓練から得意先への情報発信訓練まで実施 ・他事業所での安否確認訓練を実施	・本社事業所での安否確認を実施	B
			知的財産権	知的財産権への理解促進	・知的財産権に関する啓発活動の実施(社内イントラ・研修)【計画比実施率:100%】	・知的財産権に関する啓発活動の実施(社内イントラ・研修)【計画比実施率:100%】
		情報セキュリティ	情報セキュリティ教育の実施(情報端末セキュリティ、個人情報保護)	・情報セキュリティ教育実施	・情報セキュリティ教育実施	A
			インサイダー取引防止啓発活動の実施	・インサイダー取引防止に関する啓発活動を引き続き実施	・新任役員への啓発活動実施 ・社内イントラでの啓発活動実施	A
		品質向上	品質向上の取り組み推進	・品質保証合同会議の定期開催(年4回)と、品質向上(不良率低減、品質損失金額低減)活動と化学物質規制に関する状況共有の取り組みを継続実施	・品質保証合同会議の開催(1、4、7、10月) ・品質向上(不良率低減、品質損失金額低減)活動と化学物質規制に関する情報共有の取り組みを継続実施	A
		顧客満足の向上	お客様対応と社内への展開	・お客様センターの問い合わせ内容のCSR推進委員会への報告 ・CSRレポートへお客様の声を生かした商品を掲載	・お客様センターへの問い合わせ:2,184件 その内、商品・規格・価格・機能性に関する問い合わせは47%(1,026件)、ご指摘が5%(107件) ・お客様の声を生かした商品について、次期以降に検討	B
消費者・社会貢献活動	—	情報開示	適正なIR情報の開示	・決算短信4半期ごとに東証への適時開示および自社HPに掲載を遅滞なく実施	・決算短信4半期ごとに東証への適時開示および自社HPに掲載を遅滞なく実施	A
			外部コミュニケーション	ステークホルダーとのコミュニケーション促進(当社の強みをPR)	・従来の外部コミュニケーションの実施 ・CSRブランドに関する情報集め ・取り組みの検討開始	・JAPANTEX2016、第83回東京インターナショナル・ギフトショーなど、展示会へ出展 ・2016年5月期決算発表の遅れから機関投資家との面談は通常より減ったが、限られた面談のなかで積極的に機関投資家とのコミュニケーションを図り、当社事業および業績への理解を促進 ・ホームページでの法定開示資料に加え、IRミーティングでの配布資料を掲載するなど、積極的に情報を開示 ・CSRブランドに関しては、今後取り組む
		社会貢献活動	地域への貢献 環境関連の社会貢献活動実施	・決定した活動について、実施準備を始める	・地域への貢献、環境関連の活動については引き続き実施し、当社グループの社会貢献の指針(分野、コンセプト)について検討中	B